

## 2-1-1 マスタ管理

**AToMsQube**では、システムのカスタマイズを少なくするため、パラメーター方式を利用したモジュール構造となっています。

パラメータは、システムパラメータとユーザーパラメータに層別されており、「システムパラメータ」は、システム導入時に設定するもので、「ユーザーパラメータ」は、ユーザーがシステムを運用していく上で、都度見直しをして運用するパラメータとして準備されています。

システムパラメータは弊社担当者が設定・運用を行います。（画面提供はありません。）  
 ユーザパラメータはシステム稼動を始める初期段階に登録が必要なものと運用を進める上で順次登録を行なっていけば良いものの2種類があります。  
 運用を行うのに必要な設定データは、運用管理にもあります。併せてご確認ください。

マスタ管理で準備されている機能は、以下の通りです。

●得意先マスタ保守	———	受注機能を使用する時に必要
●仕入先マスタ保守	———	発注機能を使用する時に必要
●マスタアップロード・ダウンロード		
●ワークセンタマスタ保守	———	品目マスタを登録する時に必要
●製番台帳保守	———	製番管理手配を行なう場合に必要
●コード一覧		
●工場マスタ保守	———	初期導入に必要
●保管場所マスター一覧	———	品目マスタを登録する時に必要
●シフトマスタ保守	———	初期導入に必要
●カレンダー種別マスタ保守	———	初期導入に必要
●カレンダー登録	———	初期導入に必要
●カレンダー更新	———	初期導入に必要
●材質記号マスタ保守		
●賃率マスター一覧	———	原価管理を行なう場合に必要
●為替レートマスター一覧	———	原価管理を行なう場合に必要
●税率マスター一覧	———	得意先、仕入先マスタを登録する時に必要
●仕入単位変換マスター一覧	———	単位変換機能を使用する時に必要

初期導入を行う場合は、以下の順序でマスタを登録していく必要があります。

（その他のマスタは必要な都度登録を行います）

- (1) ユーザー登録  
     運用管理メニューの「ユーザ管理」
- (2) シフト/カレンダー登録  
     シフトマスタ保守  
     カレンダー種別マスタ保守  
     カレンダー登録  
     カレンダー更新
- (3) 社内情報（工場/倉庫/製造工程）登録  
     工場マスタ保守  
     保管場所マスター一覧  
     ワークセンタマスタ保守
- (4) 取引先情報の登録  
     税率マスター一覧  
     得意先マスタ保守  
     仕入先マスタ保守
- (5) 品目情報の登録
- (6) 部品構成の登録

### 得意先マスター保守

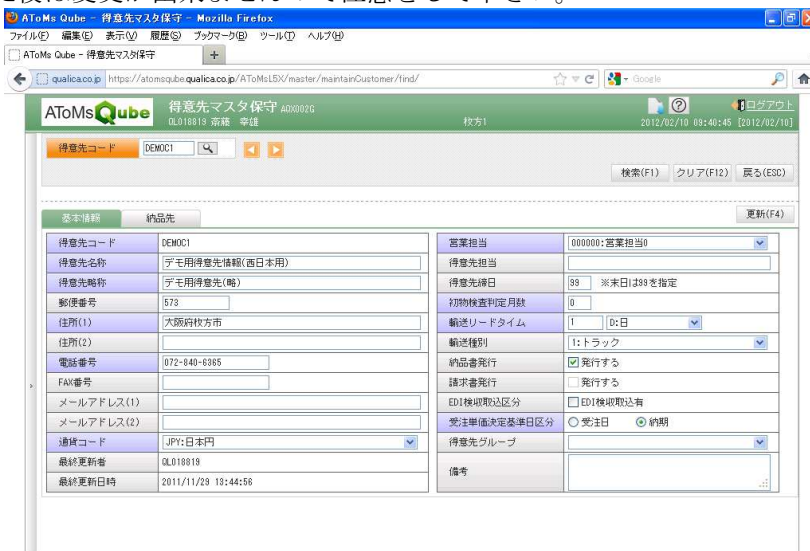
得意先コード、名称等の基本的な情報や、出荷時の輸送に関わるリードタイムを設定します。  
また、出荷時の納品先が得意先（発注元）と異なる場合は、得意先と納品先を紐つけて登録を行います。  
初物検査指定、EDI検収取込区分、受注単価決定基準日区分などがあります。

※初物検査：初めての製品の場合の出荷から次回納品までにかかる月数を設定します。  
得意先毎に初物検査を行う間隔を設定し、初検査対象の場合は、作業指示書に初物マーク(HK)が表示されます。

※EDI検収取込区分：EDIで、自動売上を実行する場合はチェックします。

※受注単価決定基準日区分：受注登録時の販売単価を販売単価マスタから取得する時に受注日の範囲で決定するか納期の範囲で決定するかを設定します。

※通貨コードは一度登録を行った後は変更ができませんので注意して下さい。



### 仕入先マスター保守

仕入先コード、名称等の基本的な情報を設定します。

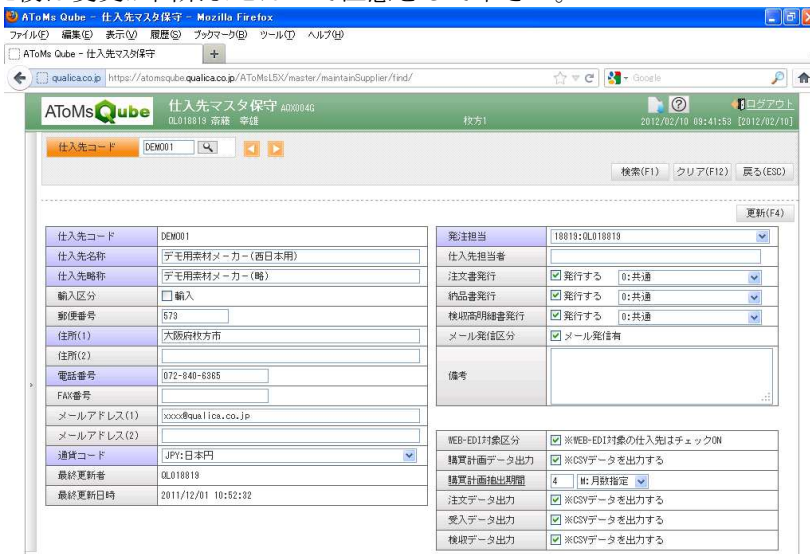
各種帳票を発行するか否かの区分、WEB-EDI機能を使用するか否かの区分があります。

※各種帳票：注文書、納品書、検収高明細書をそれぞれ発行するかしないかを決定します。

※WEB-EDI機能：仕入先に割り当てたID向けに各種データを作成する場合にチェックします  
帳票はPDF形式で作成され、データは夜間バッチ処理で作成されます。

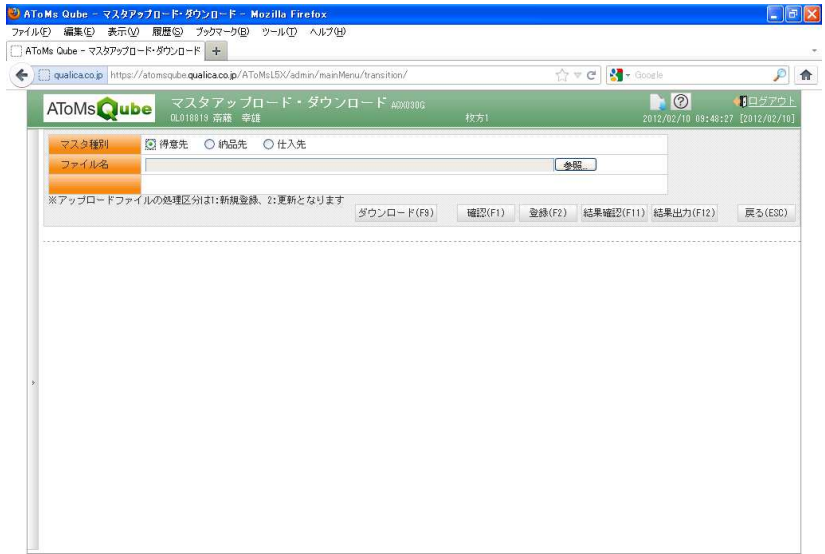
WEB-EDI機能の詳細説明は、第2章-13「WEB-EDI(パートナー)」を参照下さい。

※通貨コードは一度登録を行った後は変更ができませんので注意して下さい。



マスタアップロード・ダウンロード

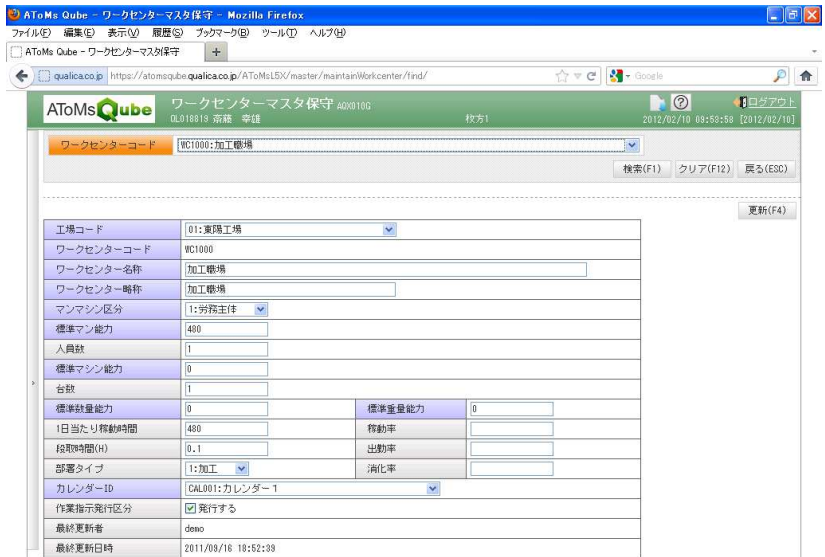
得意先・納品先・仕入先マスタ情報を、全件ダウンロードおよびアップロードを行ないます。  
 ※CSVレイアウトはオンラインヘルプを参照下さい。



ワークセンターマスタ保守

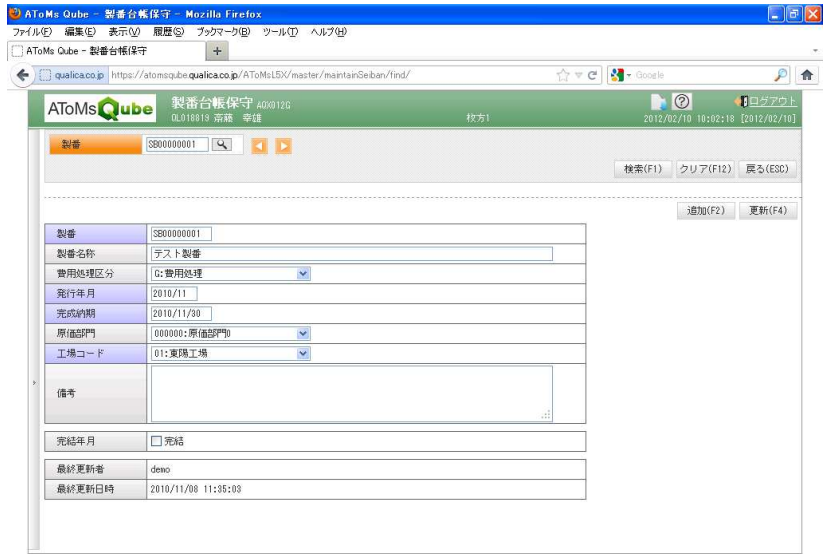
品目マスタ工順情報で設定する、ワークセンターの名称等の基本的な情報や、能力に関する情報を設定します。作業指示の発行有無の制御や工程単位の使用カレンダーなども設定可能です。

- ※能力情報：標準マン能力、標準マシン能力、標準数量能力、標準重量能力はH単位の数値で設定を行なう事により、工程管理「ワークセンター別負荷照会」の能力値に表示されます。
- ※工程単位カレンダー：日勤8H勤務や8H勤務2交代制などのシフト設定が可能になります。このカレンダーで作業指示データの工程展開時の日付設定を行ないます。



### 製番台帳保守

製番管理手配を行なう場合に、受注登録をする事前準備として製番を登録します。  
製番の開始から完了までの期間や、費用処理、原価部門を管理します。

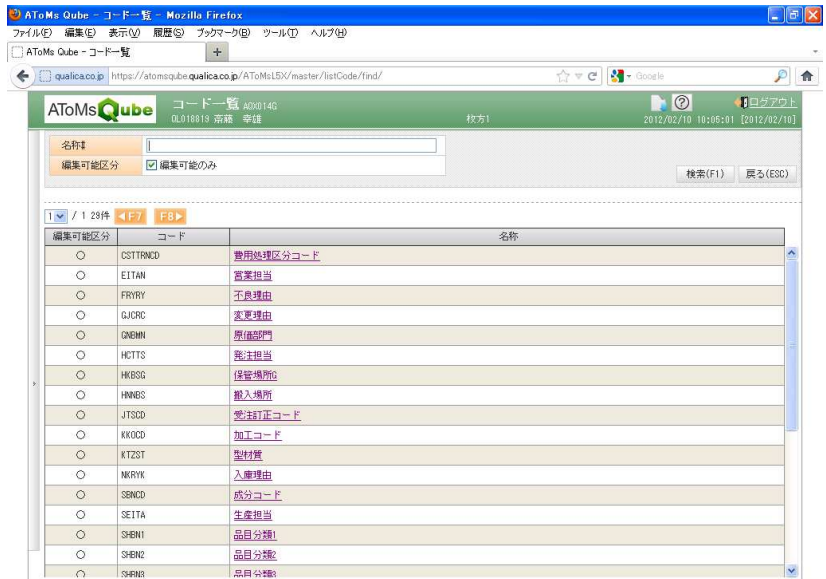


### コード一覧

ATomsQubeシステムで使用する各種コードの追加・変更を行ないます。

編集可能区分のチェックを外す事により、全コード一覧が表示できますが、編集不可コードは弊社システム担当者のみが変更可能です。

※各機能でデータ登録する場合に必要なってきますので、その場合に当画面から登録して下さい。



### 工場マスタ保守

工場の名称等の基本的な情報の変更や、MRPの条件、カレンダーを設定します。  
マルチサイトを使用する場合は、そのサイトに該当する工場マスタをそれぞれ準備する必要があります。

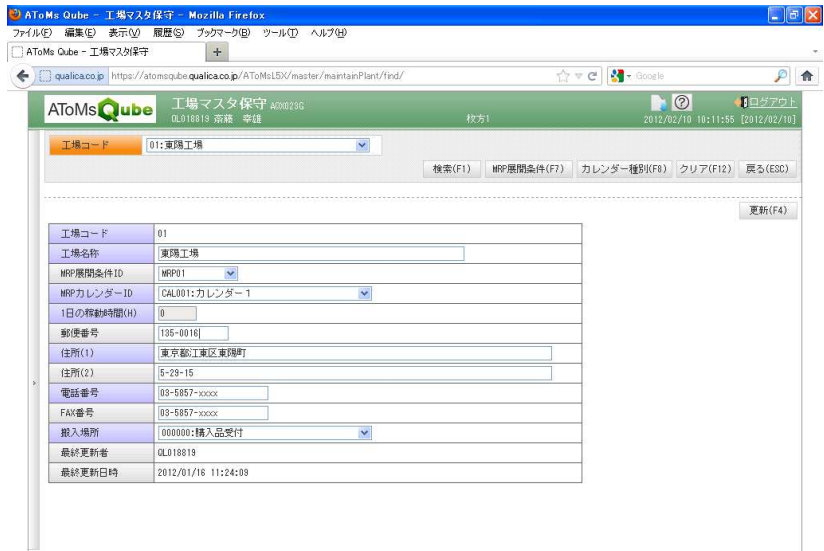
**※新たな工場の追加はシステム上の制約や、契約上の理由により**

**貴社にて追加を行うことができません。**

**追加の必要がある場合は、必ず貴社運用担当者を通じてシステム管理会社問い合わせ窓口までご相談ください。**

※MRP展開条件ID：MRP実行指示画面のDEFAULT表示される条件を設定します。

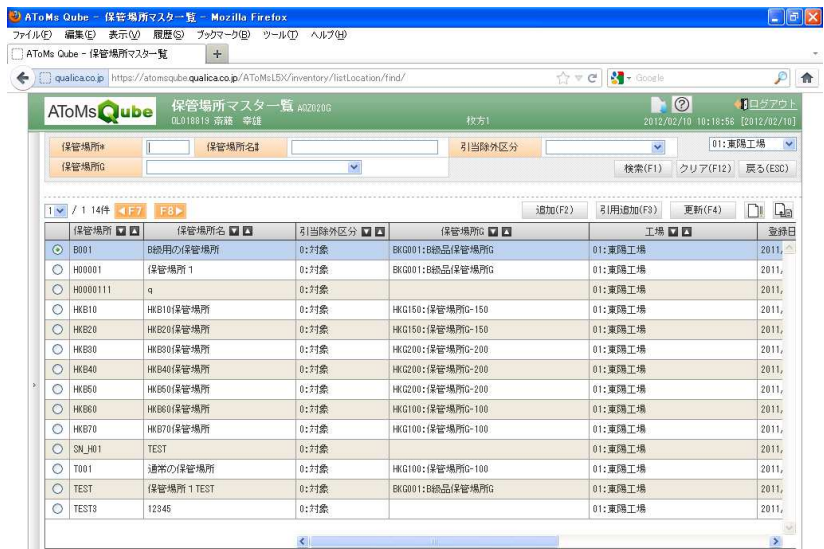
※カレンダー：MRPで使用するカレンダーを設定します。（工場の基本稼働カレンダー扱いです）



### 保管場所マスター一覧

品目マスタ手配情報で設定する、材料、部品、半製品、製品等の在庫を管理する保管場所の情報を設定します。

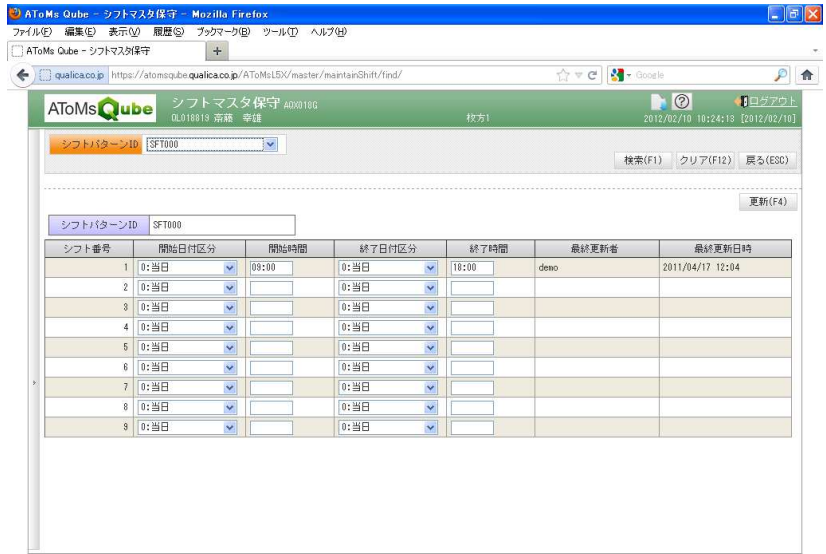
また、MRP処理で在庫引当の対象とするか否かの制御もここで設定します。



### シフトマスタ保守

当工場で運用している勤務時間の開始、終了を設定します。

ワークセンタ単位で運用している、2交代や3交代等、前日もしくは翌日にまたがるシフト毎に登録可能です。



### カレンダー種別マスタ保守

当工場で運用しているカレンダーとシフト体制を設定します。

※日勤8H勤務や8H勤務2交代制などの種類毎に設定を行ないます。

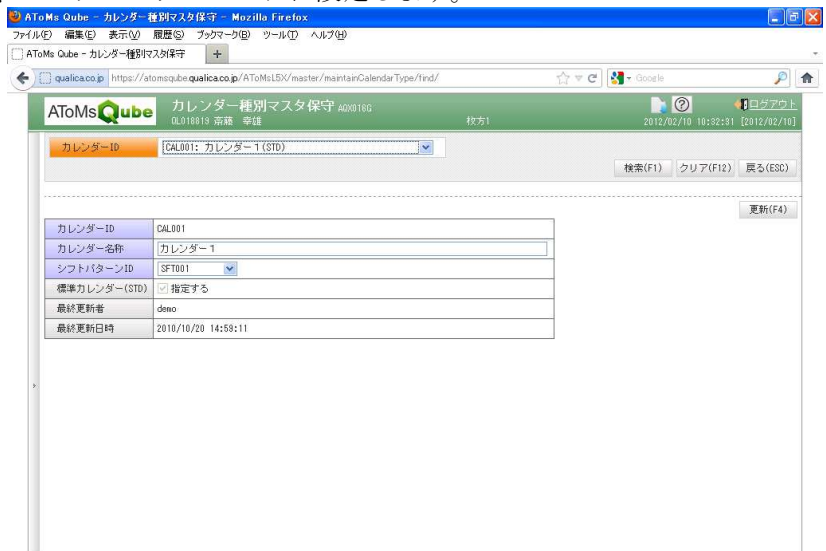
複数のカレンダーを作成した場合は、どのカレンダーが標準カレンダーとなるか指定する必要があります。

※標準カレンダーは、受注出荷機能などに影響します。

例：納期管理表は当カレンダーの稼働日のみ表示されます。

※工場カレンダー（MRP実行）は、工場マスタのMRPカレンダーとして設定します。

※ワークセンターカレンダーは、ワークセンターマスタに設定します。

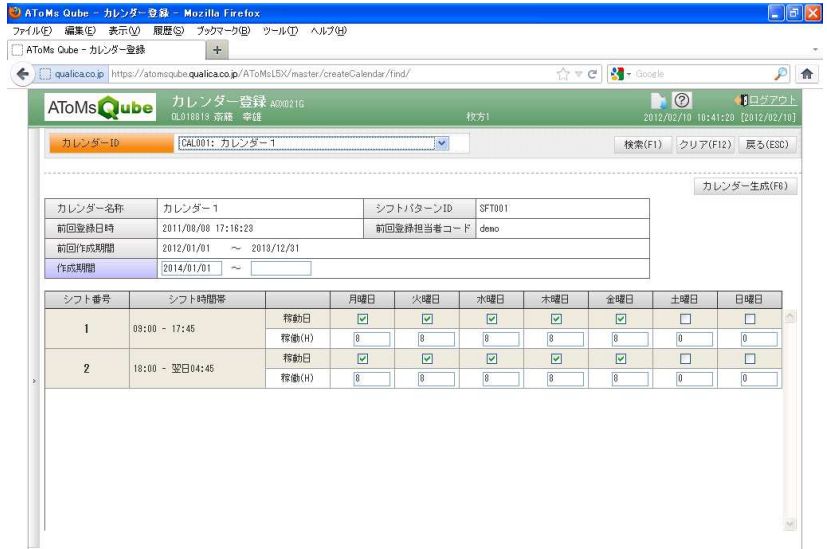


### カレンダー登録

カレンダーID 毎に、指定された作成期間分のカレンダーを作成します。

本画面上で入力した1週間分の稼働/非稼働、及び稼働時間を基本パターンとして作成期間中の各日に適用されます。

※特定日付単位の稼働/非稼働や稼働時間の変更は次機能「カレンダー更新」で行ないます。



### カレンダー更新

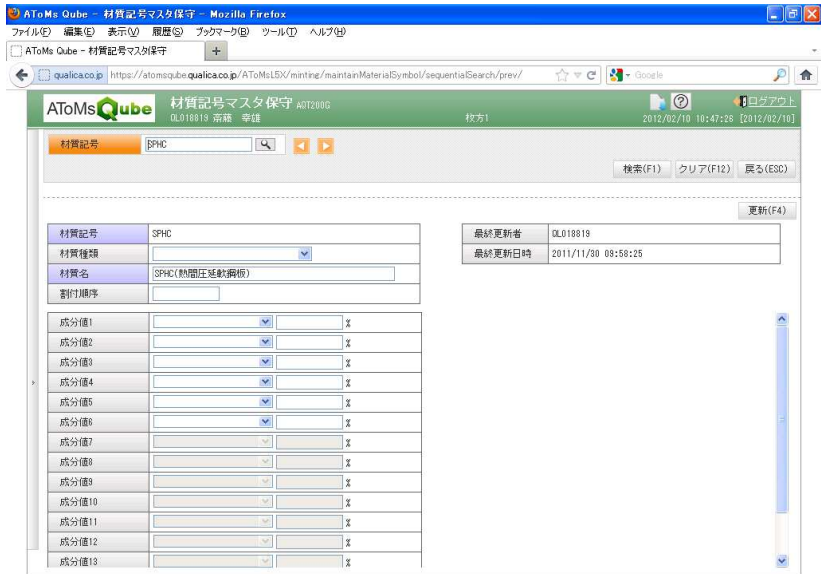
作成済みのカレンダーに対して、日付単位の稼働日/非稼働日や稼働時間を更新します。

※稼働日/非稼働日の変更：勤務時間で画面表示を行い、勤務時間数を変更します。



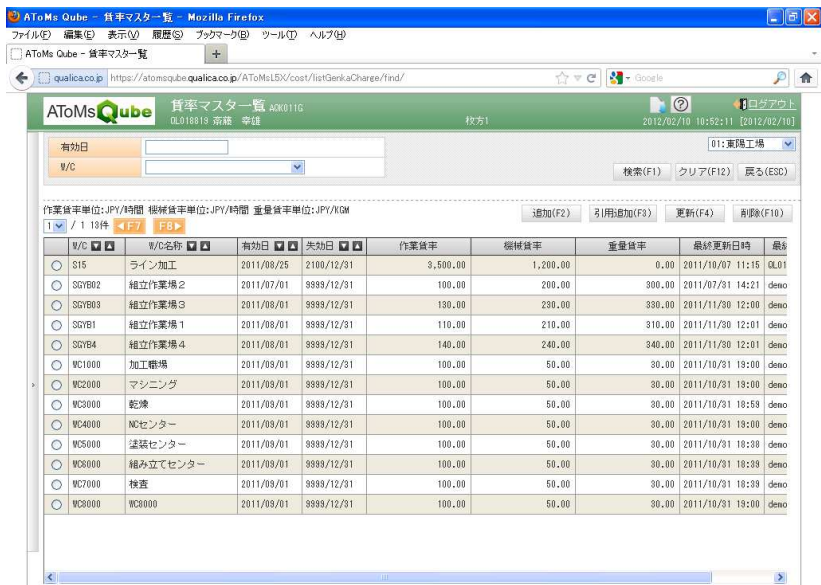
### 材質記号マスタ保守

品目マスタ基本情報で設定する、材質記号の情報を設定します。  
 ※成分値は「コード一覧」の「成分コード」で事前登録が必要です。



### 賃率マスター一覧

品目別個別原価の加工費を計算する時に使用します。  
 ワークセンタ毎に時間当たりの賃率（社内単価）を登録します。  
 ※時間の種類は日（D）時間（H）分（M）をシステムパラメータ「チャージ単位」で設定します。  
 設定した単位（日か時間か分）が画面に表示されます。  
 ※加工費計算の詳細は、「原価管理」を参照下さい。





### 為替レートマスター一覧

原価管理で扱う自社通貨コードとの為替レートを登録します。

※扱う通貨コードは事前登録が必要です。弊社システム担当者にご連絡下さい。

※自社通貨コードはシステムパラメータ「通貨単位」で設定します。

※標準レートか最新レートを使用するかはシステムパラメータ「レートデータ区分」で設定します。

計画原価作成で使用する為替レート

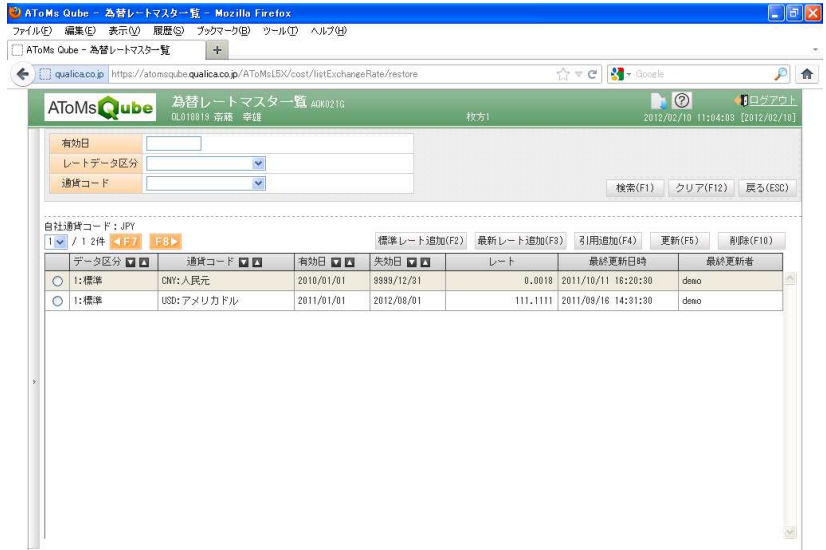
1：標準レート

2：最新レート

元帳作成で使用する為替レート

1：標準レート

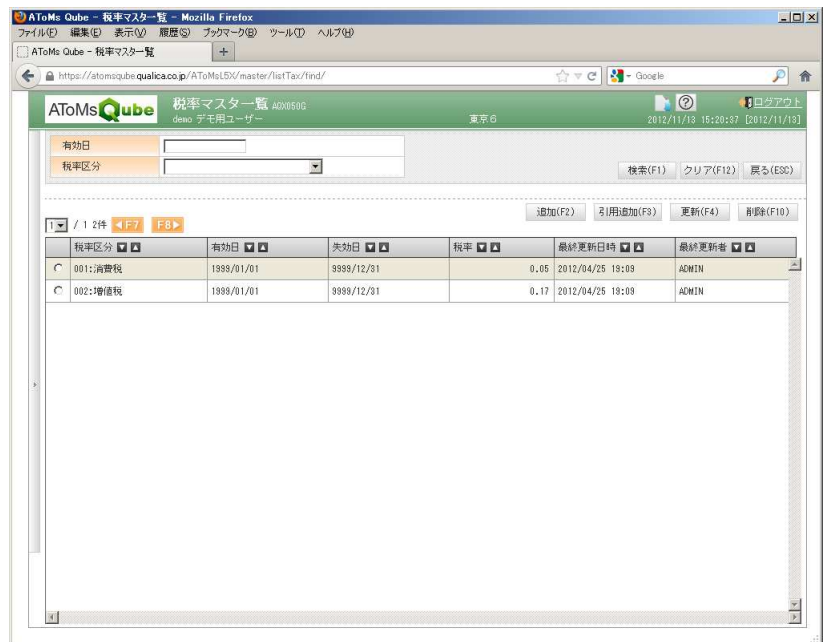
2：最新レート



### 税率マスター一覧

得意先マスタ、仕入先マスタを登録する時に設定する税率を登録します。

この税率を元に売上データの売上金額、検収データの検収金額の税込金額が計算されます。



### 仕入単位変換マスター一覧

数量単位と違う発注時の仕入単位を使用する場合に、数量単位と仕入単位の変換係数を登録します。

※「共通」 : どの品目、仕入先の場合でも有効となる変換データ

「仕入先・品目」: 特定の仕入先・品目にのみ有効な変換データ

登録方法)

単位1から単位2へ変換する場合の変換係数を登録します。

例) 1個(PCE) → 1箱(BX:100個) 変換係数: 0.01

※詳細説明は第2章-7「購買管理」の「仕入単位設定機能」を参照下さい。

